

# 基礎工学国際棟 貸出AV機器

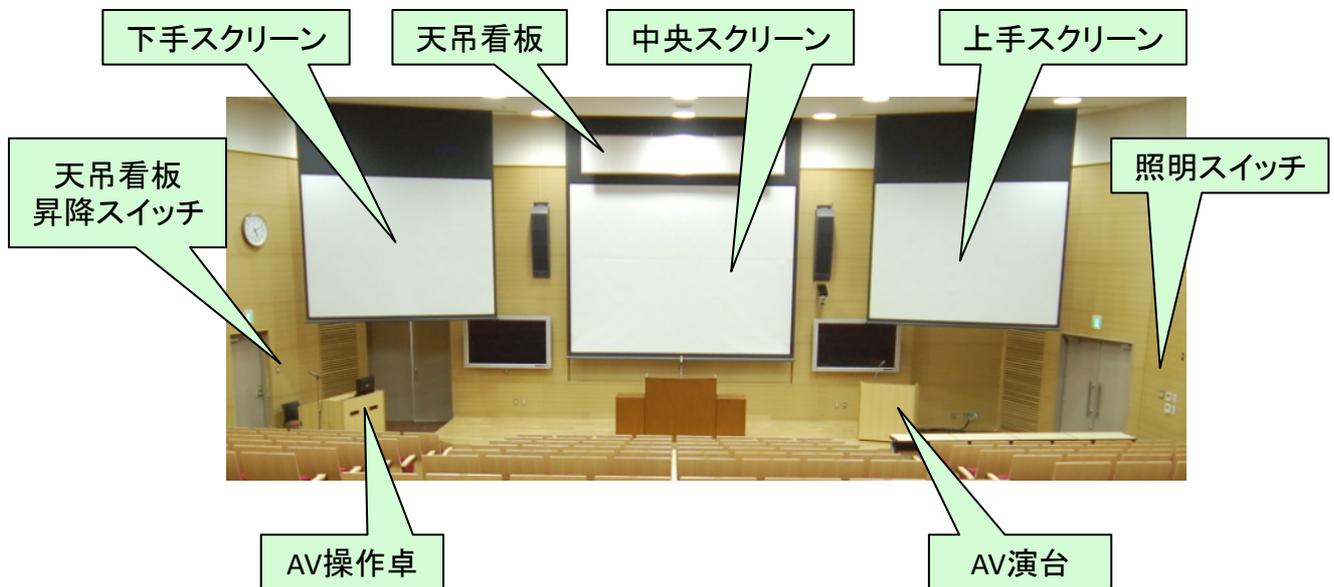
## <シグマホール>

- ・ AV演台
  - ・ VGA端子・ステレオミニジャック音声端子 1系統
  - ・ 卓上有線マイク
  - ・ イーサネット端子 (ODINS認証、大阪大学個人IDが必要です)
- ・ AV操作卓
  - ・ VGA端子・ステレオミニジャック音声端子 3系統
  - ・ 卓上有線マイク
  - ・ イーサネット端子 (ODINS認証、大阪大学個人IDが必要です)
- ・ 天吊プロジェクタ (中央) 三洋LP-XF47 (15,000 lm、1024×768、4:3)
- ・ 天吊プロジェクタ (右サブ) パナソニックPT-D6000LS (6,500 lm、1024×768、4:3)
- ・ 天吊プロジェクタ (左サブ) 同上
- ・ 卓上マイクスタンド **ワイヤレスマイクを挿す場合は慎重に**
- ・ 立位マイクスタンド **ワイヤレスマイクを挿す場合は慎重に**
- ・ ワイヤレスハンド式マイク (赤外線式、充電式) 3本  
**退室時に必ず充電ケーブルを挿してまましておいてください**
- ・ ワイヤレスペンダント式マイク (赤外線式、充電式) 1本  
**退室時に必ず充電ケーブルを挿してまましておいてください**
- ・ **VGAビデオケーブル (卓上に入力端子があるので、50cm長もあれば充分)、ステレオミニジャック音声ケーブル等は常備していませんので、利用者をご持参ください。**
- ・ **電子黒板、遠隔講義システム、講義集録システムは常時貸出を行っていません。利用を希望する場合は、利用の2ヶ月以上前に庶務係に相談ください。**

## <セミナー室>

- ・ 天吊プロジェクタ (中央) パナソニックPT-D6000LS (6,500 lm、1024×768、4:3)
- ・ ワイヤレスハンド式マイク (赤外線式、充電式) 2本  
**退室時に必ずスタンドに挿してまましておいてください**
- ・ **VGAビデオケーブル (卓上に入力端子があるので、50cm長もあれば充分)、ステレオミニジャック音声ケーブル等は常備していませんので、利用者をご持参ください。**

# 基礎工学国際棟 シグマホール AV機器操作



## <演台にPCを置いて、プロジェクタを使用する場合>

- 1) 操作卓でシステム電源 (キー式) をON
- 2) 操作卓のタッチパネルで、スクリーンを下げ、プロジェクタ電源ON
- 3) 演台のVGA端子に、持込したVGAケーブルでPCを接続
- 4) 演台の「中央スクリーン」、「演台PC」のボタンを押す

## <操作卓にPCを置いて、プロジェクタを使用する場合>

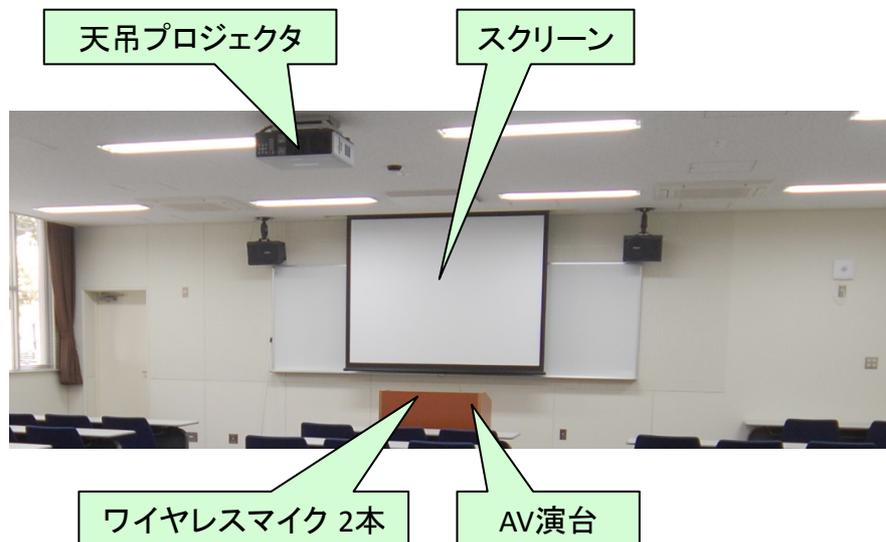
- 1) 操作卓でシステム電源 (キー式) をON
- 2) 操作卓のタッチパネルで、スクリーンを下げ、プロジェクタ電源ON
- 3) 操作卓のVGA入力1端子に、持込したVGAケーブルでPCを接続
- 4) 操作卓のタッチパネルで、「映像選択」タブで画面で切り替え、「中央スクリーン」欄の「操作卓PC入力1」を押す

備考：演台（1台）と操作卓（3台まで）にそれぞれPCを置き、切り替えて使用することもできます。それぞれ卓上のステレオミニジャック音声端子を使えば、PCの音響を拡声することもできます。

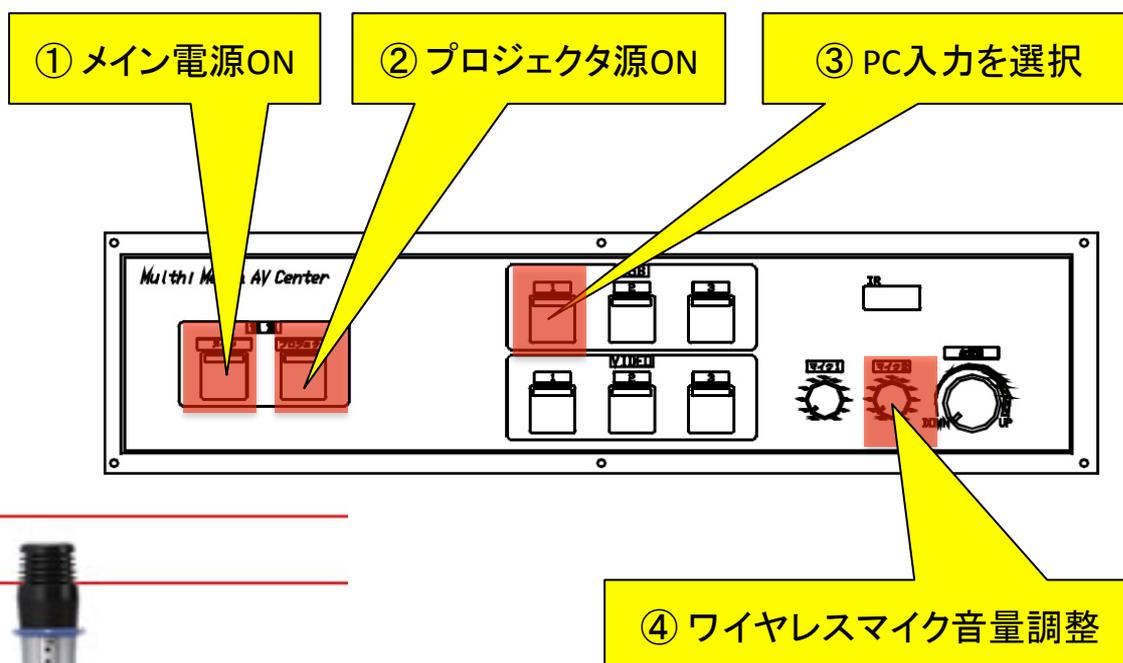
## <終了する場合>

- 1) 操作卓でシステム電源 (キー式) OFF  
自動的にスクリーンが上がり、プロジェクタ電源がOFFになります。クーリングに関係なく、任意のタイミングでシステム電源はOFFできます
- 2) 赤外線ワイヤレスマイクを、操作卓上で充電ケーブルに挿したままにする

# 基礎工学国際棟 セミナー室 AV機器操作



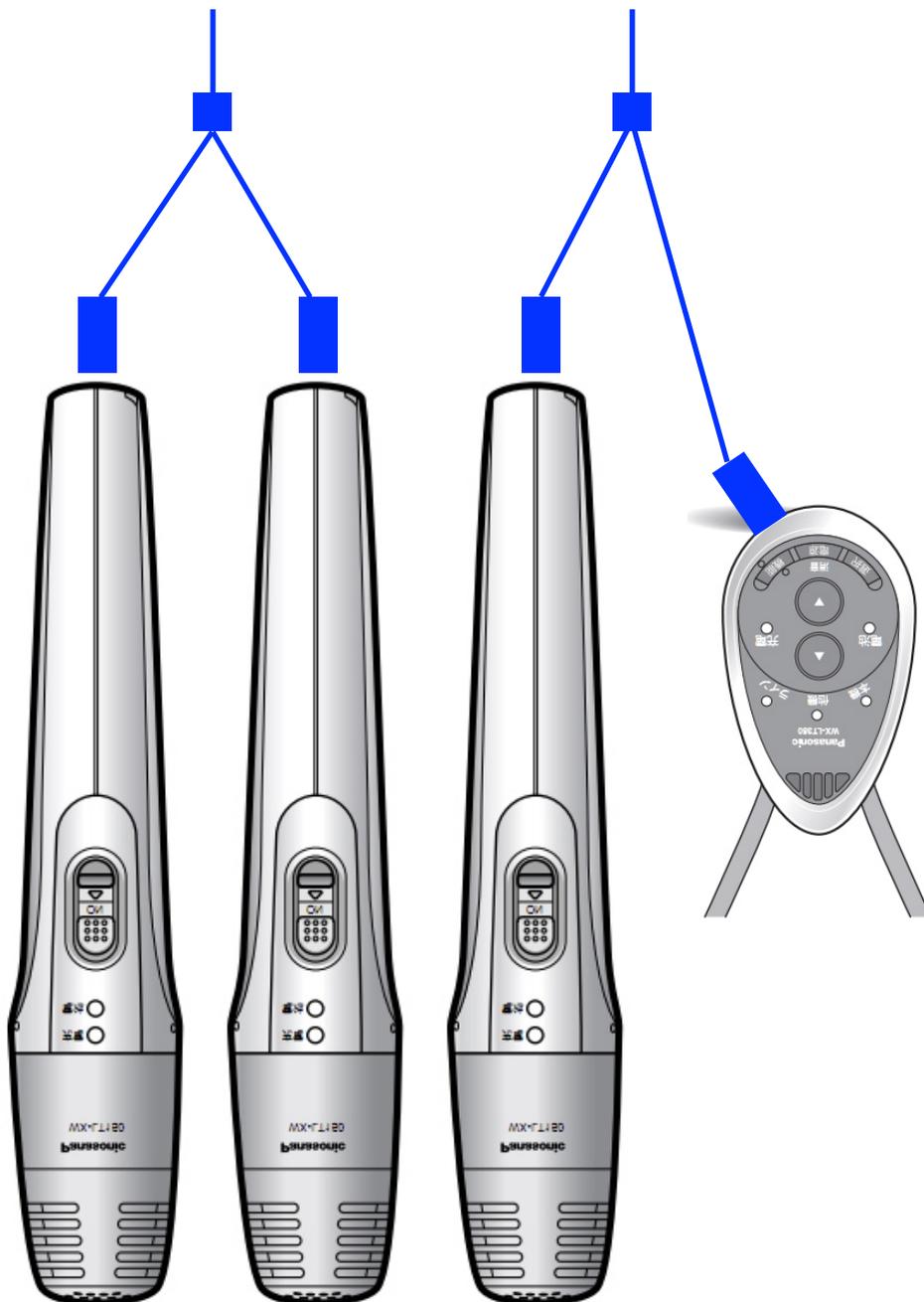
使用法) 演台下の左の扉を開け、コントローラの電源を入れてください。



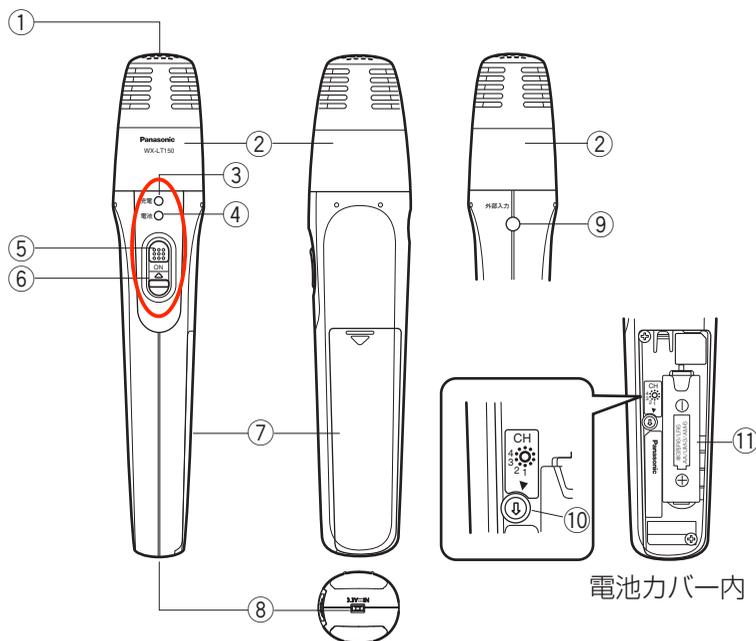
ワイヤレスマイクは、次の利用者のために、必ずスタンドに戻してください

# 基礎工学国際棟 シグマホール 赤外線ワイヤレスマイク

退室時は次の利用者のために必ず充電ケーブルを挿してください



# 各部の名前とはたらき



## ① マイクロホン部

ここから話者の音声を集音します。

## ② 赤外線発光部

ここから赤外線を送信します。手や衣服でおおったり、ラベルを貼ったりするなどしてふさがらないでください。

## ③ 充電表示ランプ[充電] (赤色)

充電中の状態を示します。

(☞ 20、21ページ)

点灯：充電中です。

消灯：充電完了または電池未挿入です。

点滅：乾電池または劣化した充電電池が挿入されている可能性があります。電池を確認してください。

## ④ 電池表示ランプ [電池]

本表示ランプによって本機の電源と電池の状態を以下のように示します。

点灯 (緑色)

：電源「入」の状態です。

点灯 (橙色)

：電源「入」の状態ですが、電池残量が少なくなっています。

点灯 (赤色)

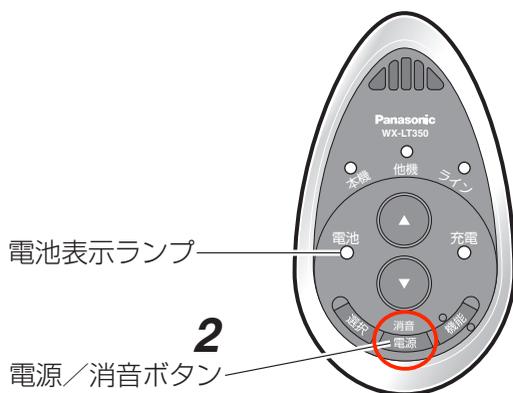
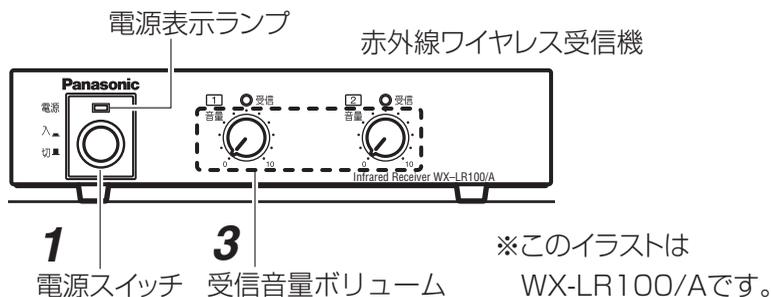
：電池残量がありません。電池を充電または新しい電池に交換してください。

消灯：電源「切」の状態です。

点滅 (緑色、橙色、または赤色)

：チャンネル設定に誤りがあります。(☞ 13ページ)

# マイクを使う



## 1 受信機の電源スイッチを押して、受信機の電源を入れる

受信機の電源表示ランプが緑色に点灯します。

## 2 本機の電源/消音ボタンを1秒以上押して、本機の電源を入れる

本機の電池表示ランプが緑色あるいは橙色に点灯します。電源を切るときは、2秒以上押ししてください。電池表示ランプが消灯します。

## 3 音量を調節する

受信機の受信音量ボリュームで音量を調節します。調節したあとは、必要に応じて音量制御で話者によるレベル差などを微調節します。

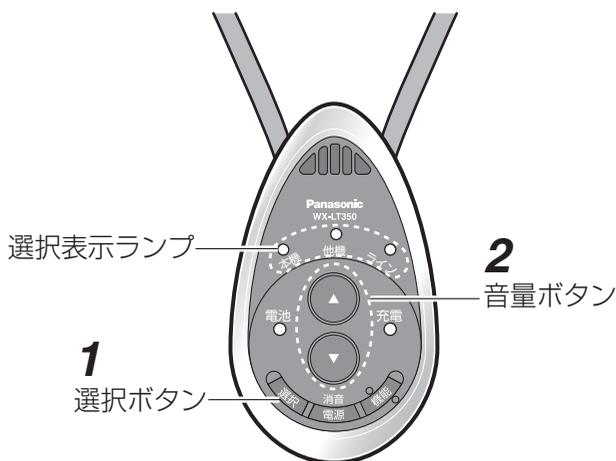
(☞22、23ページ)

使用後は本機と受信機の電源を切ってください。

# 音量を制御する

赤外線ワイヤレス受信機（WX-LR100/A、WX-LR100/B）および赤外線ワイヤレスパワードスピーカー（WX-LP100）で受信した赤外線ワイヤレスマイクロホンの音量や、赤外線ワイヤレスパワードスピーカー（WX-LP100）のライン入力端子に入力した音声の音量を本機から制御できます（2009年6月現在）。

受信機側や外部機器側の各ボリュームの音量を調節してから、本機側で以下の操作を行い、話者によるレベル差などを微調節します。



## 1 選択ボタンを押す

選択ボタンを押すと、電源を「入」にした後、初回は「本機」選択表示ランプが点灯し、以降は直前に選択した「本機」、「他機」、「ライン」いずれかの選択表示ランプが点灯します。その状態で選択ボタンを数回押して、対象を選択します。選択表示ランプの点灯順序は以下のとおりです。



※選択表示ランプの点灯時間は約5秒間です。無操作で約5秒間経過すると、選択表示ランプは自動的に消灯します。

## 2 音量ボタン[▲/▼]を押す

1で選択した対象の選択表示ランプが点灯している状態で、音量ボタンを押すか、押し続けます。